

R7地域ごん談会まとめ

案件番号	自治会名	ごん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1-1	千代川町	JR千代川駅自由通路整備について 市、JRの実施設計と仮設工事等が本年度行われると聞いていますが、進捗状況をお聞かせください。また、工事の利用者への周知について教えてください。	JR千代川駅東西自由通路整備事業につきましては、昨年度は、12月にJR西日本と自由通路本体に係わる実施設計及び工事に関する基本協定と年度協定を締結し、今年度も4月に年度協定を締結しております。また、市において、東西駅前広場内の支障物件の撤去復旧等に係わる実施設計業務を行っております。今年度は、現在、JR西日本において実施設計が進められており、今後、実施設計は年度内に完了、また、年明けごろには、JR電気支障施設の移設工事をJR西日本が行う予定であると同っております。市もJR西日本の進捗状況に合わせてとなりますが、予定では年明けごろから東西駅前広場内における自由通路工事や作業ヤード確保で支障となる構造物等の撤去工事を行う予定をしております。 工事開始に伴い、近隣住民を含め、JR千代川駅の利用者に工事実施を周知できるよう、掲示物や市ホームページやSNSなどの周知方法や、ロータリー利用制限に伴う送迎車両などへの協力依頼の内容、事業の進捗状況に応じた周知時期など、工事開始時や工事中のトラブル等を減らすことができるよう周知については検討し、対策をまいりたいと考えております。 今後、住民への周知など事業進捗を図るうえで、各町自治会をはじめ地元の皆様には、ご協力を願うこともあるかと思っておりますので、今後とも事業に対するご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。	まちづくり推進部長	②実施予定 ⑥その他	JRによる実施設計は現在実施中であり、またJR電気支障施設移設工事はR8.3月頃に着手予定とJRから聞いており、市工事は現在発注内容の検討中です。 ごん談会時の回答のとおりです。
1-2	千代川町	JR千代川駅自由通路整備について 千代川駅自由通路他詳細設計のデザインコンセプトによりますと豊かな水の軸「シンボル緑化」「ふれあい緑化」に囲まれた千代川駅千代川地区を、緑のテーマゆとりある緑豊かな市街地環境を育て、産業と共存する街を目指しているとなっております。水辺公園を含めた、街づくりをお願いしたいのですが、具体的な計画があれば教えてください。	JR千代川駅東西自由通路のデザインにつきましては、令和3年度から実施した基本設計において検討しており、平成26年度に市で策定した「亀岡市 緑の基本計画」で示している千代川町を含む当該地区の地区別構想における地区方針のテーマである「ゆとりある緑豊かな市街地環境を育て、産業と共存するまち」や、千代川駅が「豊かな水の軸」「シンボル緑化」「ふれあい緑化」に囲まれた立地であることが示されていることを考慮することし、自由通路の基本設計におけるデザインコンセプトでは、交流空間となる「うるおいプレイス」や、霧をモチーフにした自由通路外観仕様とする設計を行っております。 そのため西側には、「うるおいプレイス」として、植栽やベンチを配置するデザインとしており、以前は東側にも「うるおいプレイス」を設ける計画としておりましたが、千代川駅整備促進協議会でも意見をいただいた駅舎への動線見直しに伴い、階段を折返し形状にしたことや、また、設計を進める中で基礎構造上の問題が判明したことにより公衆便所を自由通路建物外(南側)に設ける必要が生じたことから、基本設計で計画していた「うるおいプレイス」を設けることが困難な状況となっております。 今後実施するロータリー上屋の設計内容を含め、「うるおいプレイス」を設けるスペースがどこかで確保できるようであれば、再度検討したいと考えております。 また、JR千代川駅東西自由通路の整備については、JR軌道敷を挟んだ東西両側のまちの分断を解消することが目的で整備するものであり、自由通路を整備することによる交通アクセスの向上を図ることが、地域の快適性や安全性が向上するとともに、水辺公園を含めた街づくりの一環にも繋がるものとも考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	ごん談会時の回答のとおりです。
		回覧等で工事についてのおしらせが必要ではないのでしょうか。	工事を行う際は自治会と相談のうえで通知、回覧、全戸配布なりさせていただき地元住民の皆様への周知を徹底し、トラブルのないようにしたいと考えています。	まちづくり推進部長	⑥その他	ごん談会時の回答のとおりです。
		年度末には仮設工事に着手するのでしょうか。	年明けごろからJRが電気工事に着手する。亀岡市の工事としては用水路の移設であったり、今後大きなクレーン車を設置するので、そのための作業ヤードを整備する工事に年明けごろから着手する予定をしております。住民向けに広報します。	まちづくり推進部長	②実施予定	JRによる電気設備移設工事はR8.3月頃に着手予定とJRから聞いており、市工事は発注内容の検討中です。
2	千代川町	〇千々川改修進捗と国道9号線の千々川橋の架替について 1.千々川改修については、R9号線下流域の工事はほぼ終わり、今後はR9号線の千々川橋架け替えへとすすめていただいています。昨年の懇談会にて今後の予定として国の迂回路及び橋梁設計の実施、用地測量等の実施後の用地交渉に入るとなりましたが進捗はどうでしょうか。	令和7年7月28日に、千代川町自治会館において国土交通省京都国道事務所及び京都府南丹土木事務所から「千々川橋改修事業に関する役員説明」を受けていただいたとあり、昨年、要望活動を行っていただいた結果、令和7年度から国事業である千代川町地区歩道整備事業が橋梁も含め新規事業化されております。 迂回路及び橋梁設計については、すでに国や京都府間で協定が締結され、9月中に入札により業者決定する予定で国が事業手続きを進めている状況だと伺っております。 また、詳細設計については、迂回路及び橋梁の形状を決めていくことになるため、地元調整をさせていただく際には改めて説明させていただきますので、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。	まちづくり推進部長	⑥その他	ごん談会時の回答のとおりです。
		2.上流域の工事予定をお聞かせください。	京都府によると、昨年度から京都府において、護岸詳細設計を進めている状況とのことです。国道9号千々川橋架け替えに先立っては、右岸側の護岸整備を順次進めていく予定としており、工事着手時期は出水期明けの今年10月中旬以降を予定していると同っております。	まちづくり推進部長	⑥その他	ごん談会時の回答のとおりです。

R7地域ごん談会まとめ

		<p>【質問等】 千々川は一級河川であるので、大雨になると洪水になりかねないので護岸工事を早く進めてほしい。協力は惜しまないので、市のバックアップをお願いします。 時期はどれくらいかかるのでしょうか。</p>	<p>千々川橋を架け替えて広くしてから上流を整備すると聞いている。少し南の大井町若宮橋と同じような迂回路をつける必要があるので、商店の土地を借りたり、場合によっては建物の補償をさせていただくなどの交渉も必要かと考えられます。市も協力して交渉に当たっていきたく考えています。 明確には時期は伝えてもらえないが、大井町の若宮橋は迂回路設計・設置から竣工まで10年かかっています。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>ごん談会時の回答のとおりです。</p>
3-1	千代川町	<p>国営圃場整備事業について 千代川工区 文化財の発掘調査が北ノ庄拜田地区で広範囲に5月から行われていますが、発掘調査によるほ場整備の進捗の影響はでしょうか。 京都縦貫道千代川インターの工事が及ぼす影響については分かりますか？</p>	<p>千代川工区におきましては、多くの埋蔵文化財が包蔵されているため、当初は行政機関での予算確保の調整に時間を要したことで遅れが生じましたが、令和5年度予算から調査費用が全て国に移行したことで、調査箇所や工程の調整等がスムーズに進められるようになりました。 現在、ほ場整備工事計画と合わせながら関係機関と工程を計画的に協議しており、ほ場整備工事の発注計画に影響ないように取り組んでいるところです。しかしながら、今後、埋蔵文化財調査により調査範囲の拡大等が出てきた場合については、関係機関と速やかに工程協議を行い、工期に遅れが生じないように取り組んでいきます。 なお、新年度のほ場整備事業の予算確保に向けて、協議会と市、府で積極的な予算要望活動を行っていますので、今後とも、早期の事業完成に向けて関係機関、地元推進組織と連携して取り組みを進めていきます。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>ごん談会時の回答のとおりです。</p>
3-2		<p>国営圃場整備事業について 桂川西工区の圃場整備について、昨年度の懇談会では千代川地域(高野林・小林地域)の範囲については令和8年度末の完成に向けて取り組むとの事だったが進捗状況は。</p>	<p>桂川西工区のほ場整備工事について、現在、千代川町高野林・小林地区の一部において工事発注手続中です。同地区の残工区は引き続き工事発注を予定しており、工事完成については令和9年度の予定です。 早期の工事完成に向けて関係機関、地元推進組織と共に取り組みを進めていきます。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>ごん談会時の回答のとおりです。</p>
3-3		<p>国営圃場整備事業について また、大銅川の新設の橋梁も着々と進んでいるが、桂川右岸道路の計画についてどのように取り組んでいるのでしょうか。</p>	<p>桂川右岸道路につきましては、千代川町川関から宇津根橋南詰までの約3.5キロメートルを整備区間としており、亀岡市都市計画マスタープランにおいても、構想路線に位置づけ、整備に向けた取り組みを進めており、まずは、現在実施されています国営緊急農地再編整備事業桂川西工区と連携し、大銅川に渡河する橋梁整備を優先的に進めていくこととしております。 橋梁整備については、近畿農政局亀岡中部農地整備事業所が事業主体となって進められており、亀岡市が農道橋から市道橋への幅員増加分を費用負担することとし、今年度は橋梁上部工事及び取付道路設計を行う予定と向っていることから、亀岡市においても円滑に事業が進むように、近畿農政局と連携して取り組んでまいりたいと考えております。 なお、新設されます橋梁以北の桂川右岸道路の整備につきましては、計画延長も長く、千々川への橋梁架設や府道宮前千歳線との交差点など、物理的な課題も多いことから、今後は、優先的に整備する区間などについて、整備促進協議会や河川管理者など関係機関との協議を進めて参りたいと考えております。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>ごん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>今年田植えができ、今まで以上に水持ちがよくなったとの報告がありました。 課題はネクスコの具体的なスケジュールが明確に示されていないことです。本来であればネクスコの工事がなければ来年3月にその1工事ということで完了する予定で進んでいたが、ネクスコの工事スケジュールを提示してもらっていません。来年4月からはその1工事部分について作付けができる予定だったが、縦貫道側の一部の完成までできないです。できればスケジュールを明確化していただきたいと思えます。換地の関係もあり、地権者も不安に思っています。 文化財については、拜田で立派な文化財が発掘されたと聞いています。圃場整備の地区外にして現状維持とする、さらに1億円と1年をかけて調査させてほしいと条件を出されたが、文化財として残すのかどうか明確にしてください。地権者は圃場整備のために換地に同意しているのに、もし圃場整備ができないのであれば圃場整備地区外として残さなければならない、そうすると換地の条件などを大きく変更しなければならないということになります。残すのであれば、市または府、国として管理してもらわなければならないと思えます。もとの地権者が地区外となった土地を管理するのは非常に課題が大きいですと考えます。</p>	<p>ネクスコには亀岡市から工事計画等、地域への説明を要望していきます。 拜田の出土品が文化財にあたるのかどうか早急に検討します。市または国が買い取るのかは、どの程度の文化財なのかによって異なると思うので、そこを明確化する必要があります。近畿農政局に働きかけていきたいと考えています。</p>	<p>市長 (産業観光部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>ごん談会時の回答のとおりです。</p>

R7地域こん談会まとめ

		千原地区水害対策のため、拜田から府道の北から南、千々川まで抜く水路を予定しています。水路をそのまま千々川に放流させてほしいが、千々川に再度工事が入ると聞いており、放出してはならないと聞いています。そのためずいぶん遠回りな排水路となり、約600平米ほどの農地が水路のためにつぶされる計画となっています。コメ不足もあるし、将来的に改修されれば無駄な水路として残るので、できれば千々川に直接放水できるように検討してください。	また改めて担当課から南丹土木事務所に連絡をし、ご説明にお伺いさせていただきます。	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		土地区画整理事業について 桂川西工区の千代川地域(高野林・小林地域)の進捗について要望していることだが、昨年の懇談会ではR8年度末の完成と説明していたが、本日R9完成と説明を受けた。圃場整備の工事の着手および排水の幹線排水路の早期着工・完成を要望します。 幹線排水路の接続工事、幹線排水路の仕様改修をR9年度の早い時期に完成させてください。	圃場整備区域内の幹線排水路は、上下水道部の雨水排水計画に基づき願成寺川に雨水を排水する雨水幹線排水路として整備が進められています。工事の完了予定はR8年度末と聞いています。圃場整備事業自体はさらに伸びる可能性もあると聞いていますが、幹線排水路が完成して願成寺川に流せるようになれば、高野林・小林土地区画整理事業地内の仮設調整池を本設の調整池に切り替える工事に着手できると聞いています。現在の予定ではR9年度から仮設調整池の撤去と本設調整池の設置に取り掛かる予定であると聞いています。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		明晴区民から公園はいつできるのか？と多く聞かれています。昨年度4月の説明ではR8年度4月着工と聞いていたが延びています。水路が完成すれば着工に進めるという認識でよろしいでしょうか。	現在の予定では、線路より東側の圃場整備の幹線排水路の完成がR8年度末に完成と聞いておりますので、R9年度には本設調整池を兼ねた公園の整備に着手いただけるものと認識しております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
4	千代川町	1 川の駅「亀岡水辺公園」から舟下りを行うためには、重機を使った浚渫や川作等による航路を確保することは困難であり、今後の方向性について、京都府と共に協議することでしたが、どのような協議をされたのかお聞きしたいです。	昨年11月7日に、千代川町自治会の関係者の方々と指定管理者である保津川遊船企業組合、府南丹広域振興局、亀岡市の4者で川の駅「亀岡水辺公園」に係る京都府当初計画の現状と課題についての協議をいたしました。これを受け、重機を使った浚渫や川作等によって舟下りの航路が確保できるのか1月23日に個別で保津川漁業協同組合から府南丹広域振興局、亀岡市が意見を聞き取ることに、2月7日には堤防スロープや河川敷階段への手すりの設置等について府南丹広域振興局と南丹土木事務所、亀岡市とで現地確認を行っています。 当初計画されていた川の駅から舟下りを行うためには、航路確保のために一定の水深が求められ、河川が増水するたびに浚渫を行うことが必要となります。この作業は重機を用いて行わなければならない、河川環境の生態系に悪影響を与えたとともに浚渫工事費に関しても莫大な金額が想定され、船下りを実現することは難しいとの結論が出されました。このようなことから、ラフティングやサップなどのアクティビティ体験型としての事業実施に向けて検討していきたいということで話し合いを行いました。	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
	千代川町	2 川の駅から河川敷に降りるスロープについて、堤防を削る形での対応できないので不可能とのことでしたが、簡易的なスロープの設置等についての京都府との今後の協議はどうでしょう。	南丹土木事務所との現地協議において、河川区域への工作物の設置については流域面積を狭めるスロープ等は原則、設置ができないとのことでした。特に出水期である6月16日から10月15日の間に工作物を設置することは避けなければならない、期間が限られる仮設設置であれば一時的には可能になるものの、川の駅施設利用者数が最も多い時期と重なることから、利用者が限定的になってしまいます。 加えて、既存の河川敷の現状では、既設の階段等に等に穴をあけて手すりを設置する簡易的な手法でも土壌に耐久性がなく、階段の中にコンクリートを入れて固める等の整備が必要となります。河川法では、設置が不適当な箇所においてやむを得ず工作物を設置するときは、水理模型実験、数値解析等により、局所洗掘及び河道の安定等、設置による河川への影響について検討を行い、適正と認められる対策を講ずる必要があることから、これについても多額の費用を要することになります。引き続きこういった整理ができるか検討していきたいと考えております。	産業観光部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

	千代川町	3 今年の区からの要望事項にもあるのですが、川の駅の周りを今津区にて草刈りをされているが、どこまでが今津区の範囲であるか不明なので川の駅の管理範囲を明確にしてほしい。	令和5年1月26日付けで、亀岡市と京都府との間において包括占用区域に係る覚書を締結し、「川の駅 亀岡水辺公園」として管理する区域を定めています。占用面積は、全体で9,237.72㎡としており、原則、河川堤防敷きの法面については、指定管理者の管理対象からは外れています。そのため、京都府南丹土木事務所の管理エリアとなります。	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
5	千代川町	準市道の早期の整備について 湯井区区内の生活道路(農道)については「準市道」として認定いただいたため、早期事業着手について、予算の確保及び整備計画・技術指導等について格別の力添えをお願いしたい。 なお、本事業認定後は、認定外道路整備事業により実施となるが、地権者との調整及び、業者選定、地元調整等は湯井区が実施主体となり行うため指導をお願いしたい。	準市道にならない中で心配をかけてきたが、地元負担1割、市負担9割で工事をすすめていきます。工事は基本的に地元で進めてもらって、市は補助金対応としています。補助金には全体格があり、ほかの地域からも申請が来ているので調整を進めます。一気に進まないと思うが早い段階で調整を進めてまいりたいと考えます。	市長 (まちづくり推進部長)	①実施	こん談会時の回答のとおりです。 令和7年度の補助金につきましては、交付決定通知をお送りします。
6	千代川町	OR9号大成中学校前信号交差点西側の信号待ちたまり場の確保について R9号の「大成中学校前」交差点(小林地区)は、R9号に市道小金山小林線が東西に交差をする交通量の多い交差点であり特に、大成中学校への通学路として多くの生徒が通学すると共に、明晴区を始め周辺小林区でも小規模な開発が進み地域住民の自転車や徒歩での通行が多く見られ大変危険な交差点であります。 しかし、信号待ちをする場合、東側(串カツ田中側)はR9号の歩道や水路のふたがありたまり場がありますが、西側については市道も狭く又、深い水路があり信号待ち時のたまり場がなく大変危険な交差点であります。 については、国交省京都国道事務所と協議頂き、水路をボックスカルバート等の改良により信号待ち時のたまり場を確保いただき、大成中の生徒や地域住民が安心して安全に横断出来ますようよろしくお願い致します。	当該箇所について京都国道事務所に問い合わせたところ、歩道設置計画はありませんが、工事の施工時期等は未定とのことでした。 本市としましては、京都国道事務所が大成中学校前交差点付近の歩道整備にかかる設計業務に着手される際には、用水路の暗渠化等により、歩行者たまりが確保できる交差点計画となるよう協議したいと考えておりますが、まずは、河川改修と併せた千々川橋掛け替えによる国道9号の歩道整備を最優先に進めていただけるよう要望してまいりたいと考えております。	まちづくり推進部長	⑤困難	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 工事自体は軽微だと思わずぜひ早期に進めてほしいです。	9号線歩道は幅員が狭いので、大成中前から千々川橋まで歩道を拡幅する計画を国交省が持っている。西側に1mある歩道を広げる計画であるので、詳細設計をされる際に市道を含めた計画としてもらえるよう協議していきます。	まちづくり推進部長	⑤困難	こん談会時の回答のとおりです。
			その方法では時間がかかるので、市道で工事を進めてはどうか、暫定的に5m程度を暗渠化してたまり場にしてみてはどうか、検討します。	市長 (まちづくり推進部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

7	千代川町	<p>高齢者の移動手段について</p> <p>○免許証返納後の移動手段として、電車、バス、タクシー等があり、亀岡市でも敬老乗車券を販売されている。亀岡市には住民主体の移動支援事業もされている地域があるが、深夜に救急車で病院に運ばれた際帰宅するにも移動手段がないため、なにか対策等あれば聞きたいです。</p> <p>○移動支援事業 サポートカー等の取り組み方を教えてほしいです。</p>	<p>深夜に救急車で運ばれた場合、タクシーの営業時間内であればそちらを御利用いただけますが、タクシーの営業時間外であると、対応は難しいものと思われます。</p> <p>ご家族やお知り合いの方が迎えに来られる場合もあるかと思いますが、そういった方法が難しい場合は、地域の移動支援事業等で対応されることも一つの方法と考えます。</p> <p>地域での移動支援事業については、バス運行の空白時間帯や、地域の皆様のニーズに合わせた細やかな移動に対応するため、補助制度を設けて支援を行っております。参考として、補助制度を用いた移動支援事業については、既に東別院町、西別院町、畑野町、旭町、宮前町神前地区の5地区で事業を実施されております。</p> <p>補助制度の内容としては、車両の購入費やリース料金、点検整備費用、予約利用調整に係る費用(人件費)、保険料、運転手の講習費などが対象となり、車両の新規取得については4/5補助で上限額が350万円、その他の運行経費については利用者数によって上限額が変動いたします。なお、事業開始から4年目以降は、運行経費の3割以上の自主財源を確保いただく必要があります。会費の徴収や自治会からの補助などの検討をお願いしております。</p> <p>なお、先に申し上げた5地区で運行されている事業は全て、道路運送法上の許可や登録を要しない無償の運送事業となりますが、自主財源を確保するため、交通空白地における自家用有償運送事業の実施も可能となっております。この場合、タクシー運賃の8割以内の運賃を利用者から徴収し、運営経費や人件費に充当することが可能です。</p> <p>また、車両の確保については個人や近隣事業所から借用される場合や、運転手の自家用車を活用されている場合もあります。保険についても、車両保険と合わせて加入されている場合や、運行回数に応じて日額で加入されている場合もあります。地域の実情や、利用者の見込みによって様々な方法が考えられますので、まずは桂川・道路交通課へご相談いただけますようお願いいたします。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】</p> <p>月1回、12人の民生委員で集まり、地域状況等について共有している(移動困難者情報など)。災害時の避難について、強制的に自治会に運ばなければならぬ人はいないが、高齢化率は高く、小林東地区だけでも70歳以上が150人以上います。</p> <p>一人暮らし、高齢者のみ世帯などを訪問しているが、ちょっと買い物や病院に行きたいが交通手段がない人が多く、何かしら移動手段を欲しているが、タクシー利用がメーターのみなら嫌がられる、乗車拒否などもあります。町中に孤立した高齢者が多くいることを認識していただき、そこに補助をつけてほしいです。移動手段を確保するために立ち上がる場面が出てきます。地域包括と社協で話をしたが、声を上げてくれと言われたので声を上げているので相談に乗ってほしいと考えます。</p>	<p>各地で高齢者が公共交通があったとしてもバス停まで行けない等の状況が増えてきています。高齢者の移動交通の確保は市としても大きな課題で検討しているところです。その1つとしてライドシェアが中心となり、市民の副業としてやってもらうことも検討していかねばならないかと考えています。タクシーに乗りたくても配車が30分待ちなども多く、タクシー運転手不足の問題もあり、一方で副業で市民の収入を増やしてもらえよう、ライドシェアを市が組織していきたいと考えます。</p> <p>また、地域で輸送運送を始めてもらっているが、畑野だけでなく西部地域として組織を作り、有償ボランティアとして運転代行をしてもらうとはどうかと考えています(千代川なら、大井町と大井・千代川として組むなど)。年間400名が免許返納しており、高齢化も進むと交通難民が増えます。そのため、広域で業務を担っていた層を広く募集して対応していきたいと考えています。もし広域で対応いただけるなら、市でオペレーターを集約してAIなどでルートや配車の最適化をするなどを含めて取り組んでいけたらと考えています。連携して考えていけるよう、協議会等を作るのも一つだと思います。なるべく多くの人に担っていただき、地域の皆さんの力を借りて地域を守っていけたらと考えています。このような話を地域こん談会で提案しているところですので、ぜひ検討していただければと思います。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
その他意見等		<p>大成中学校のグラウンドのフェンスが低いと学校協議会で伺った。北側・東側フェンスが低いです。北側フェンスを超えたボールが住宅にぶつかり、「放課後のグラウンドの使用を取りやめてほしい」とのクレームもありました。東側フェンスについては、JR線路内にボールが入ることもよくあるらしい。フェンス、ネットを高くしてください。西側フェンスが低く、サッカーボールが柵を超えて近隣住民とトラブルになりました。校内ではサッカーボールが超えないようにサッカー部とソフトボール部の練習場所を変えて対策しているが、ソフトボール部のボールが柵を超える危険性もあるので、ぜひフェンス対策をお願いしたいです。</p>	<p>この問題は大井自治会との懇談会でもあげられており、教育委員会としては重々承知しています。</p> <p>私自身、大成中学校教頭時代に何度も謝りに行きました。早急に対応したいが、どのような対応がふさわしいか検討しています。自治会に担当者を派遣し、また協議させていただきたいと考えております。</p>	教育長 (教育部長)	②実施予定	こん談会時の回答のとおりです。設置箇所や範囲など、設置に向けて検討を進め、令和8年度に実施予定です。